

附属学校園からの お知らせ ～いずみナーサリー便り～

お茶の水女子大学附属いずみナーサリー(以下ナーサリー)は、
当月で6ヶ月になる0歳児から年度内に3歳になる2歳児までの小さな子どもたちのための学内保育施設です。
保護者は、学業や仕事と子育てとを両立させようと日々奮闘する学生や教職員です。
キャンパスの片隅の、小さなおうちのようなナーサリーで、
どの子もその子らしくのびのびと、そして仲間と共に過ごす毎日を、少しご紹介しましょう。



みんなの遊び場

ナーサリーの玄関は、キャンパス南門から100m足らずのところにあります。建物南側には道路を挟んで新大塚公園が見え、北側は附属幼稚園の園庭の一部である「おやま」と接し、四季折々の木々の色付きを眺めることができます。

「おやま」はナーサリーの子どもたちにとっても大好きな遊び場で、見上げるような築山登りに挑戦したり、木のぬくもりを感じるすべり台を楽しんだり、秋にはシートを敷いてお昼を食べたりと格好の外遊び空間です。

午前中にたっぷり遊んで、しっかりとお昼を食べて、ぐっすりお昼寝をして、3時には3大アレルゲンフリーのおやつを食べてエネルギー補給。お迎えまでの時間を過ごします。



ナーサリーのこれから

ナーサリーの前身である「いずみ保育所」は2002年に誕生しました。すべてのいのちの源の意を込めて、元学長の本田和子先生(児童学)が「いずみ」の名を付けられたそうです。みずみずしい生命の循環を支える「いずみ」。とても小さなナーサリーですが、入所条件を満たす希望者の全員受け入れを守りつつ、子どもたちや保護者だけでなく、隣り合うようなかわり方につながってくださる多くの方たちにとっても、風通しのよい、あたたかくやわらかな陽の差し込む「いずみ」のような存在でありたいと思っています。

ナーサリーの様子

2020年度の春は、大学閉鎖に伴いナーサリーも5月末まで閉室しました。子どもたちの居ないナーサリーはひっそりとしていましたが、周りの植物や木々は緑を保ってしっかり育ち、季節を全身で受け止め反映していました。プランターに植えておいた野菜たちも立派に育って再開後の子どもたちを迎え、子どもたちは実が大きくなって色づくことを楽しみにして、収穫したあとには試食。食べ慣れない野菜でも、目の前で調理をして友だちと一緒に食べると格別なごちそうになります。

誰かと一緒に楽しむこと、友だちと同じ体験をすること、友だちと同じ気持ちを持つこと、友だちと気持ちがすれ違うこと…様々な体験を重ねながらの日々です。

仲間と共に笑い合い、時にぶつかりたり泣いたり立ち止まったりしながらの子どもたちの生活が、子どもたち自身によって、四季を通じて織りなされています。おとなたちにとっては大変に思うことが多い毎日でも子どもたちにとってはワクワクが詰まった日々の積み重ねであってほしいと思います。



附属学校園での出来事(2021年1月～3月)

【いずみナーサリー】

1月

- 避難訓練(地震・屋内待機、主任不在想定)
- お正月あそび
- 災害用伝言ダイヤル試行

2月

- 避難訓練(抜き打ち、火事、屋外避難)

3月

- 個人面談
- 避難訓練(抜き打ち、地震、室内待機または屋外避難)
- 親子であそぼう会 代替企画

【附属幼稚園】

1月

- 始業式
- 教育実習事前指導(3年生)
- 避難訓練

2月

- 豆まき
- 誕生会(1・2・3月合同)

3月

- ひなまつり
- 5歳児 お楽しみ会
- PTA総会(紙面開催)
- 卒業式
- 3歳児・4歳児終業式

【附属小学校】

1月

- 始業式
- 高等学校とのオンライン交流授業(5年)

2月

- 公開研究会(オンライン)

3月

- 情報モラル講習会
- 卒業式
- 修了式

【附属中学校】

1月

- 授業開始
- 特別時間割週間(1年)

2月

- 自主研究発表会(2年)
- 期末テスト(全学年)
- 保護者会(3年)

3月

- 卒業式
- 修了式
- 保護者会(1、2年)

【附属高校】

1月

- 始業式
- 大学入学共通テスト(3年)
- 学力テスト(1、2年)
- 保護者会(1、2年)(オンデマンド配信)
- 筑波大附属との合同キャリアカフェ(オンライン)

2月

- 入学検定・合格発表

3月

- 卒業式
- 修了式

附属学校園からのお知らせ